



《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635  
新潟県立新潟高等学校校内  
TEL 025-266-5268  
FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

長谷川 義明

《印刷所》

株式会社第一印刷所  
〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18  
TEL 025-285-7161  
FAX 025-282-1776

# 新年のご挨拶

青山同窓会会長

長谷川 義明 (61回)



新年おめでとう御座います。青山同窓会会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年には母校創立120周年という記念すべき年であり、明治24年に制定された中学校令に基づいて、県内最初の県立尋常中学校として明治25年7月(1892年)に設立されたものであり、爾来約4万人に上る多くの人材を世に送りだして参りました。

学術文化や科学技術あるいは医療や産業教育など多くの分野で国家地域の発展に貢献された先輩を数多く輩出してきたことは、枚挙の暇がないほどで、同窓生にとっても大きな誇りであり、同窓会と致しましては、学校、PTAとともに120周年記念事業実行委員会を組織して記念事業について種々検討準備を重ねて参りました。

主な内容と致しましては、  
1) 記念式典 10月20日(土) 於新潟市民芸術文化会館  
2) 青山120年史の刊行  
3) 「21世紀型学習環境の整備」  
4) 同窓会名簿の発行 などであり、いずれも各部会などで検討を重ねながら準備を進めているところであります。幸い各部会に優れた同窓生達

がボランティアで参加をして頂き、骨身を惜しまず知恵と力を発揮して諸準備が進められております。

すでに会報などを通じて同窓会の皆様にも諸事業への協力をお願いなどをいたしておりましたが、特に学習環境の整備などの諸事業の実施に当たりましては、約3000万円という予算を必要とすることから皆様からの寄付金の拠出のお願いを致して居ります。経済状況など厳しい折ではありますが、何卒趣旨にご賛同いただきご協力を賜りますようお願い申し上げます。

翻つて昨年は東日本大震災という未曾有の大災害に見舞われ、改めて自然災害の大きさ、人智の及ばぬ自然の猛威を思い知らされた年でありました。特に災害の大きかった東北をはじめとする各地の被災者の皆様に哀悼の意を表しますとともに、この国難ともいえる事態に国民全体の一致した復興への意思の

統一が強く求められていると感じます。内閣や国会での指導者たちの、国を思う次元の高い議論と対応を期待したいという願うものであります。

東海、東南海、南海地震の同時発生やあわせての富士山の爆発など過去の自然災害の歴史と、それらの災害の現代の社会生活システムへの影響の検証が求められます。原子力発電のみでなく新幹線、高速道路、電気通信システムをはじめとして暖冷房、上下水道、エレベーターなど現代の生活に欠かせない日常の生活システムすべてに影響が生ずることでしょう。千年に一度というような自然災害への対応とは、一人一人がしっかりと心構えを持つということにつながるのだと思います。



## 青山同窓会新年会のお知らせ

青山同窓会会長 長谷川義明

明けましておめでとうございます。恒例の青山同窓会の新年会を開催いたします。普段会えない方々と大いに歓談して頂きたいと存じます。開催要領は下記のとおりです。各期幹事の皆様からも同期の方々に連絡をしていただきたいと思います。また参加を希望される方はお誘い合わせて事務局までご一報ください。

青山同窓会事務局：TEL/FAX 025-266-5268  
青山同窓会電子メール アドレス niigata\_aoyama@yahoo.co.jp

### 記

日時：平成 24 年 2 月 16 日 (木)  
受付 午後 6 時  
《新年会は生徒の吹奏楽の演奏はありません》  
開宴 午後 6 時 30 分  
会場：ホテルイタリア軒  
TEL 025-224-5111  
会費：6,000 円

# 新年のご挨拶

参議院議員

佐藤 信秋 (74回)



先です。また東日本大震災では、まさかと思う高さまで津波が襲って来ましたが、「津波でんでんこ」という言い伝えどおりに、先づ我が身を安全な所に避難することの大切さが再認識されました。

今回のような広域災害では、

地方公共団体は、発災当初は、殆ど動きが取れません。職員も多くも被災し、役所としての機能は当分マヒ同然になりかねません。自衛隊、警察、消防、地方整備局等広い範囲で専門家を集め活動する必要があります。同時に、国が強いリーダーシップを発揮し、責任も費用も持つから、できることは何でもやって下さい。とメッセージを出し続けることが、何よりも必要です。十日町、津南、上越も東北に地震に襲われました。この震災も含めて、東日本大震災として復旧、復興にあたることになりました。同じ被災でも、取り残された感が出ないよう公平な取り扱いですこともまた、災害時には重要なことと思います。

青山同窓会の皆様、明けましておめでとうございます。昨年は大震災、津波、原発事故、水害等大災害勃発の一年でした。今年こそ明るい希望の見える年となるよう祈りながら、年頭の所感、ご挨拶を申し上げます。新潟地震は昭和39年、私は高校二年でした。昭和橋は落橋し、石油タンクが爆発、炎上し、我が家は壊れ、信濃川の堤防が切れて一ヶ月以上浸水しました。近くの高校に避難生活を送りながら、地震にまけない街づくりをしたい、と思ったのが、土木工学を専攻し、かつて建設省に勤め、今も国会で安心、安全の国土づくりを唱える私の活動の原点でした。

災害は、起きてすぐに、迅速果敢に避難、救助、救援対応すること、人命を守ることが最優

災の為に、ハード、ソフト両面から日頃の備え、不断の努力が必要ですが、今年こそ日本が力強く復興と原発収束に向かい、

皆様にとって、またふる里新潟にとつて明るい幸い多き年となるよう心から祈念致します。

況がより不安定となります。日本は今こそ国民の合意に基づき力強いリーダーシップを発揮すべきです。

皆様の今年一年がすばらしいものになりますよう、心からお祈り申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

# 新年のごあいさつ

衆議院議員

鷲尾 英一郎 (103回)



は戻れず越年した方も多数いらっしゃると思います。

改めて、被災者のみなさまにお見舞いを申し上げます。また、亡くなられた方のご冥福、ご遺族に哀悼の意を表します。

また震災復旧・原発事故対応に携わる全ての関係者へ敬意と感謝を申し上げます。

あけましておめでとうございます。青山同窓会のみなさまには平素より格別のご支援を賜り衷心より御礼申し上げます。

本年も旧年同様のご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成23年は大変な一年となりました。3月11日、未曾有の大災害が発生しました。東日本大震災によつて、死者・行方不明者は2万人を超え、被災地の復旧はまだこれからです。同時に起こつた世界史上希有な原発災害では、収束に全力を傾注しているものの、故郷を追われた人々

目を外に向けますと、ギリシャ危機に端を発した金融危機はヨーロッパ経済を不安に陥れ、米経済は未だリーマンショックから回復できず、結果として超円高がすすみ、定着しつつあります。円高は日本経済に暗い陰を落としており、長期デフレから中々回復できず、政府債務の累増と金融政策の失敗は日本の閉塞感に拍車をかけております。

こんな状況にあつて、今年の世界が内政の年を迎えます。米国、中国、韓国、台湾、ロシアなど、トップリーダーが交代の時期を迎え、日本を取り巻く状

況がより不安定となります。日本は今こそ国民の合意に基づき力強いリーダーシップを発揮すべきです。

昨年8月までは菅総理の居座りによつて復興予算の成立も遅れ、その結果被災地の復興に支障が出たことは断腸の思いです。しかし、9月からは野田総理が安全運転で与野党合意を大事にしながら政権運営を行つて

います。税と社会保障の一体改革、TPP参加問題など課題山積ですが、これも今まで問題が放置され過ぎてしまったが故の宿命であります。野田総理はしっかりと問題を直視し、先送りすることなく満身創痍になりながら政権運営するつもりである、と聞いております。みなさまにはお耳に痛いことばかりが話題になり、嫌気のさすこと、政治に不信感、絶望感を持つことが多くなるうちは思いますが、これも問題を先送りしないとの覚悟の現れとご容赦賜れば幸いです。

今年一年、さらに厳しい一年になるとは思いますが、夜明け前は暗いものであるし、ジャンプするにも膝を曲げねば高く飛ぶことはできません。

丈夫健児として恥ずかしくない行動をとって参りたいと存じます。



# 「安全」を土台に 「拠点化」「個性化」に力

新潟市長  
篠田 昭(75回)



年度はその趣旨の徹底を図りつつ、確実に避難できるように各地で防災訓練などを行います。

青山の皆さま、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。昨年は大変な災害の年となつてしまいました。前冬に引き続き

次なる課題は「拠点化」です。3・11大震災の後、新潟は大きな救援拠点の役割を果たしてきました。国も新潟を中心とした日本海側の救援機能に注目し、ようやく日本海軸の構築に動き出しました。日本海東北自動車道を早期に整備するとともに、日本海側と太平洋側の関係強化を働かせる横断軸の強化を働き掛けていきます。

日には空前の大震災が日本を襲いました。その救援と避難者の受け入れに追われるうちに7月末、新潟ではこれまでにない豪雨に見舞われ、「安心安全な新潟」をつくることの重要性を思い知らされた1年でした。

大震災以降、新潟東港のコンテナ取扱量が急増し、昨年は夢の20万TEU台を突破することが確実です。県とともに取り組んだ日本海拠点港の選定では「総合的拠点港」の位置を得ました。選定をバネに北東アジアでの拠点性を明確にし、雇用の拡大を図ります。

全」の土台のかさ上げです。豪雨に対する備えを国、県、関係市町村と連携して迅速に改善策を推進します。また、想定する津波の高さなどを含めて地域防災計画の見直しも急務です。来

3点目の課題は新潟市の特徴を明確に打ち出す「個性化」です。「日本一の水と土から生まれた新潟」という特性を新潟のアイデンティティーに高める「水

と土の芸術祭」を今年7月から開催し、歴史・文化に裏打ちされたまちづくりを進めます。「日本一の水と土」から生まれた最上の宝物が「食と花」です。昨秋には全国で初の「食育・花育センター」をオープンし、

## 同窓会総会報告

### 平成23年度青山同窓会総会

現職員  
古沢 俊明(88回)

去る平成23年7月15日(金)、ホテルオークラ新潟を会場に530余名の同窓生の方々の参加を得て「平成23年度青山同窓会総会」が開催されました。梅雨明けと猛暑の訪れも例年になく早かったこの夏、節電による

緩めの冷房も相まって、いつも以上に熱気に包まれた会場では、総会およびその後の懇親会とも創立百二十年への期待と意気込みに溢れた有意義な時間が繰り広げられました。

総会開始前には恒例の吹奏楽部の生徒によるミニコンサートが行われ、力強くも繊細な演奏に多くの参加者の方々が聴き入っておられました。

栗原道平実行委員長(82回)の開会宣言で始まった総会では、初めに長谷川義明同窓会長



1カ月で5万人近くからお出でいただきました。コメを中心とした食文化は日本の最高レベルであり、これを内外に示すために食文化分野で「ユネスコ創造都市」の登録を目指してまいります。

ともに創立百二十年に向けての熱い思いを語られ、周辺に迫ってきた記念事業への協力を総会参加者おひとりおひとりに請うておられました。また、大滝校長から東日本大震災に際しいち早く生徒が募金に取り組んだこと、被災された方をセミナーハウスに受け入れたことなどが紹介されました。引きつづいて行われた議事では、「平成22年度会務報告及び決算」「監査報告」「平成23年度会務計画及び予算」「役員改選」が滞りなく承認され、同窓会の百二十年記念事業への体制が整いました。

つづく懇親会では、長谷川同窓会長、佐藤信秋参議院議員

### 東京青山同窓会

#### 平成23年度総会

校内幹事 櫻井 麻利子(94回)

11月11日(金)ANAインターコンチネンタルホテル東京にて表記の会が開催されました。新潟からは、長谷川義明会長(61回)、敦井榮一副会長(69回)、渡邊毅副幹事長(75回)、大滝祐幸学校長、校内幹事櫻井の計五名が参加しました。

総会は唐沢亜弥子さん(84回)の司会で行われました。猪口孝(74回)の挨拶をいただき、君英夫さん(67回)の指揮により「旧校歌」「新校歌」を参加者全員で斉唱した後、上村光司同窓会前会長(50回)のご発声で乾杯、楽しい歓談が始まりました。歓談の合間には、最多出席期の表彰、お楽しみ抽選会などが実施され、期を超えた交流に一層の花を添えました。会の締めには元応援団長行田充さん(84回)のリードにより「ますらお」斉唱、さらに風間士郎同窓会副会長(64回)のご発声により「万歳三唱」が行われ、出席された方々全員で高らかに声を張り上げ同窓会総会・懇親会の幕を降ろしました。

新潟高校生として伝統としてきた精神を「真理追究」「自主自律」「社会貢献」の三つのことばで表し、「校訓」としたことを、将棋、クイズ、フェンシング、ボート、陸上等の部活動や、東日本大震災による避難者へのケア等の在校生の活躍について紹介がありました。

続いて富所強哉さん(46回)の乾杯の御発声で懇親会が始まりました。石塚里菜子さん(84回)の司会により和やかに進められ、エキシビジョンとして「110周年トークショー」で振り返る新潟高校の歴史と1975年青陵祭と文化祭のビデオ上映が行われました。懐かしい映像に、皆がそれぞれの高校時代を思い出していたことでしょう。

最後に、学年幹事(84回)の島津孝さん、星野紹英さんに促されて若手が壇上に登り、郷健さん(117回)、関佑樹さん



ち、大学生から90歳の大先輩まで65名が出席。本部からも長谷川会長、敦井副会長、富山幹事長、吉田副幹事長、櫻井校内幹事の5名の方々が来賓として駆け付けてくださいました。

総会では、会則・収支予算の承認の後、初代会長に(勲東北電気保安協会理事長の濱田敏克氏(71回)を選任。ここにめでたく東北青山同窓会が誕生しました。

所で見られました。思えば、故郷新潟は中越地震・中越沖地震の経験から、いち早く被災地の支援に動き、現在も福島からの避難者を数多く受け入れてくれています。東北の地に暮らす者として大変誇らしく、また有難く感じています。改めて深く感謝申し上げます。

さて、テーブルを回って酒を酌み交わすうち、時間はあっという間に過ぎ、慌てて自席でこ

## 「東北青山」が船出

東北青山同窓会幹事

寺崎 芳典 (91回)

平成23年10月15日(土)、東日本大震災のため延期していた東北青山同窓会設立総会を、仙台北6県約500名の同窓生のう

## 大震災を乗り越え

(1113回)、鈴木博之さん(107回)の音頭で校歌「丈夫・エールを斉唱し、西村正徳東京青山同窓会副会長(72回)の閉会の辞でお開きとなりました。90余名が世代を超えて親交を深めることができました。準備にご尽力くださった84回学年幹事および事務局の皆様へ深く感謝申し上げます。

業」への協力依頼について、校内幹事の櫻井さんからは大滝校長先生からのメッセージ紹介と学校の現況について、それぞれユーモアを交え挨拶をいただきました。

その後、各テーブルで近況報告や高校時代の昔話に花が咲きましたが、やはり東日本大震災の話

を避けては通れず、あの日あの時経験し、感じたことを語り合う様子が随



## 東北青山同窓会誕生

おめでとうございます

旧職員 上杉 雅之 (60回)

馳走を腹に詰め込んだ後、お待ちかねの校歌・応援歌斉唱の時間となりました。最後はもちろん「ますらお」の大合唱。アンコールの後、パーティは盛況裡に幕を閉じました。

奇しくも震災の年に産声を上げた東北青山同窓会ですが、東北の復興とともにますます発展を寄贈いたしました。

東北青山同窓会の設立をお祝いし、青山同窓会より同窓会旗

するよう、盛り上げていきたいと思っております。今回参加できなかった同窓生の皆様、1年後に開催予定の第2回総会への参加を心よりお待ちしております。

劇的ともいえる曲折を経て、2011年10月15日発足。70名近くの会員が集い、新会長に濱田敏克氏(71回)を選出された由。発起人片桐一夫氏(86回)他補佐されたスタッフに感謝すると共に、当日出席された会員の「青山魂」に敬服します。

母校新潟高校に帰り英語を教え、青山同窓会校内幹事を務めた23年間(1966～1989年)に、東京、関西両青山同窓会設立に係わった一人として今回の東北青山同窓会の発足は、大震災の後だけに誠に感動的でした。

一時期毎年のように東北大学には現混合わせで40名前後、その他東北6県の大学にも10名前後の青陵健児が進学して行きま

濱田新会長はじめ、東北電力に勤務されている会員の皆様のお陰で新潟地方では電力供給の不自由はなく感謝しています。福島原発事故後遺症の不安を含め、被災地の皆さんの生活、産業、各種事業の背後には測り知れないほどの悩やご苦労があるものと推察されます。でも復

## 青山同窓会総会のお知らせ 一予定一

日時：平成 24 年 7 月 12 日 (木) 会場：ANA クラウンプラザホテル新潟  
 受付 午後 5 時 30 分 TEL 025-245-3334  
 吹奏楽部演奏 5 時 40 分 会費：6,000 円  
 総会 6 時  
 懇親会 6 時 30 分

※今年では会場・曜日共に変更がありました。ご注意願います。

興への力強く、明るい光も見えるマスコミ報道が日増しに多くなっているように感じます。エネルギー産業に従事されている会員の皆様のご苦労が、日本全体の今後のエネルギー問題の前向きで明るい進展に生かされることを心から願っております。

## —— 創立百二十周年記念事業 ——

### ◆創立百二十周年記念式典・祝賀会の内容決まる◆

日 時 平成 24 年 10 月 20 日 (土)

スケジュール

◆記念式典 (無料) …りゅーとびあ コンサートホール

受付 午後 1 時

式典 午後 1 時 30 分

講演会 午後 2 時 30 分～3 時 45 分 65 回卒 会津八一記念館館長 神林恒道さん

パイプオルガン 演奏会 午後 4 時～午後 5 時 111 回卒 石丸由佳さん

◆祝賀会 (1 万円) …ホテルオークラ新潟

受付開始 午後 6 時

祝賀会 午後 6 時 30 分～8 時 30 分 105 回卒 今井あいさんの歌があります

※お申し込みの詳細は次号 (青山同窓会報 第 95 号) に掲載いたします。

### ◆百二十周年記念募金の開始を宣言◆

平成 23 年 7 月 15 日に 500 名余を集めて開催された青山同窓会総会で、長谷川同窓会長 (兼創立百二十周年記念事業実行委員長) が声高らかに記念募金のキックオフを宣言されました。

この募金は、全国公立高校の最先端を行く ICT 化教室の構築を目的にしております。

すでに寄付をされた方々にお礼を申し上げますと共に、まだ寄付をされていない方がおられましたら、後輩のため格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

寄付は 1 口 5 千円、出来れば 2 口以上をお願いするものです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### ◆法人・団体の寄付もお受けいたします◆

今回の募金から法人・団体等からの寄付の受付を始めました。

1 口 5 万円以上ですが、寄付を下された法人・団体名を平成 24 年 10 月に開催される記念式典プログラムに掲載させて頂きますと同時に「青山百二十年史」を差し上げるものです。会社の代表者、医療法人や弁護士・税理士法人等を開業されている同窓生の方々からのご厚志を心からお待ちしております。

また職場やクラブ OB 会等で「〇〇青山同窓会」を作って活動されている団体も多いと存じます。会合等がありましたら寄付のお声掛けを頂き、集まりましたご好意につきましても喜んでお受けいたします。

### 《入金方法》

口座名義 新潟高校 120 周年記念事業募金 振込口座 第四銀行 白山支店 普通預金 1656754

詳しくは青山同窓会ホームページまたは事務局までお問い合わせ下さい。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### ◆『青山百二十年史』についてのお願い◆

先に御案内申しあげました『青山百二十年史』につきまして、すでに多くの方々より予約をいただきありがとうございます。

前回の御案内でお伝えすべき点が不十分で、御迷惑をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。

そこで、下記のようにお取り計らいいただきたくお願い申し上げます。

1. お支払いは、『青山百二十年史』をお送りする際 (平成 25 年 2 月予定) に「青山百二十年史」宛の振込用紙を同梱いたしますので、それをお使いください。
2. 『青山百二十年史』の申し込み締め切りは、記念式典当日 (平成 24 年 10 月 20 日) といたします。
3. 申し込みはがきを失くされた方は、たいへん御手数をおかけいたしますが、官製はがきに、①御住所 (送付先)、②御署名、③卒業回、④ご希望が CD-ROM 版か書籍かを御記入のうえ、〒951-8790 新潟市中央区白山浦 2 丁目 645 番地 54 株式会社 新潟日報事業社 『青山百二十年史』係 にお申し込み願います。

錠剤、散薬、座薬、注射薬。パッチ（はり薬）などがある。特に痛みが激しいときはレスキュー投与で 1 日投与量の 1/6 量を投与する。注射液を薄めて経口投与もすることもある。睡眠薬、抗不安薬等、発作の場合抗てんかん薬も使用する。下剤投与：麻薬のための消化管の運動麻痺による便秘を緩和するため下剤や大腸運動刺激剤を投与。

#### 大学医学部医学科・医科大学医学科における教育について

一般教育、教養教育、基礎医学教育、社会医学教育、臨床医学教育。何れも講義と実習があり、臨床実習は大学付属病院ほか市中病院（がんセンター 市民病院 地域医療施設 特別医療施設 老人ホーム等）のいろいろなところで専門医から学んでいる。

患者さんを診て更に検査資料をみて指導医のもとで自分たちで考え問題判定をする教育をうけている。

即ち、個人レベルの問題解決学習、チーム基盤型学習があり、最後の試験は客観的臨床能力試験（患者さんを診察し、臨床検査所見もみて診断し、治療法をのべる）最終的には医師国家試験がある。

（武藤先生の講演は中身の濃い内容で紙面の関係で専門的用語を省かざるを得ない部分も多くありました）

（石井智裕）



#### 講演 2

##### 「落語にしひがし」

恩田雅和さん（76 回）

今日は少し早めに学校に着いたので、正門前をぶらぶら歩いていたら、私が通学していたときと校舎が一新されていて、以前の面影は全く残っていなかった。私が新潟高校に入学したのは昭和 40 年。当時、生徒の通用口は正門から入って右側の階段を上ったところにあったが、通用口のそばには外灯があって、「寄贈・三遊亭円歌」と書かれていた。この方は二代目三遊亭円歌で、新潟高校の前身である旧制新潟中学校の卒業生だ。明治 23 年生まれ、昭和 39 年の 8 月に亡くなった。私が入学する前年に円歌は亡くなっているが、学校にこの外灯を寄贈している。外灯は「円歌灯」と呼ばれ親しまれていたそうだが、卒業して 20 数年経ってから気になって学校に電話したところ、そのときにはもう外灯は跡形もなくなってしまっていた。おそらく私が卒業してまもなく、工事のときに残念ながら取り外されてしまったようだ。私はこの外灯を毎日見ながら学校に通っていて、その印象が非常に強く残っている。円歌灯は、母校である新潟高校と落語のゆかりとして第一に挙げられる。

ほかに新潟高校と落語とのつながりを示す例として挙げられるのは、坂口安吾だ。安吾は旧制新潟中学校に 2 年生まで在籍し、落第して東京にある私立の豊山中学校に転校した後、落語の寄席に出入りするようになる。それは、安吾が若いころ故郷である新潟の友人に宛てたたくさんの手紙に「寄席に行くと面白かった」と書かれていることからうかがい知れる。安吾と落語との関わりについては、実はどの研究者もほとんど指摘していない。安吾の作品の中でファルス文学である「紫大納言」という短編には、落語のある一節が出てくる。作品の中にこれだけはっきりと書かれていることから、安吾は落語から強い影響を受けていることがわかる。

さて、私が支配人を務めている天満天神繁昌亭は、5 年前に開場した。定席（年中無休で開場する落語専用小屋）として、大阪では 59 年ぶりの復活となる。

東京には定席が現在 5 軒（新宿末廣亭、池袋演芸場、鈴木演芸場、浅草演芸ホール）の民間 4 軒と、国立演芸場があるが、大阪には繁昌亭の 1 軒しかない。東京に国立演芸場があるので大阪にも国立演芸場をつくってほしいと、上方落語協会は随分昔から国に陳情していたが、結局実現しなかった。そこで、2006 年 9 月 15 日、国、大阪市、大阪府の公的援助は一切受けず、民間の方の寄付によって繁昌亭がつけられた。

これまでに大阪には昭和 60 年に国立文楽劇場がつくられている。文楽も大阪ゆかりの伝統芸能で、国が文楽を保護するためにつくった劇場である。現在は文楽を演じる人も少なくなっているため、国の予算で演者を養成している。

だが、上方落語も文楽にひけをとらないくらいの日本の伝統芸能である。なぜなら上方落語は 300 年の伝統があるといわれているからだ。非常に大雑把な言い方だが、東京の江戸落語で今演じられているネタは、およそ 7 から 8 割が上方落語から流れてきたものである。現在、江戸落語の人数はおよそ 450 から 470 人、上方落語はおよそ 230 人。上方落語には上方落語協会というものがあり、230 人のうち 9 割 5 分は協会員だ。江戸落語には落語協会と落語芸術協会の 2 つがあり、ほとんどがどちらかに所属している。ちなみに繁昌亭は、上方落語協会員でないと昼席に出演できない。

上方落語と江戸落語の違いとして、上方落語では見台、膝隠し、小拍子という道具が使われており、派手な演出がされる。一方、江戸落語にはこれらの道具がない。これは、屋外で発達した上方落語と対照的に、江戸落語は屋内で上演されていたからと言われている。そのため江戸落語は座敷芸が発達し、人情噺や怪談噺など長い噺が多い。

東京の劇場では 1 ヶ月を上、中、下の 10 日間単位で分けて興行しているのに対し、繁昌亭は 1 週間単位で興行している。これは上方落語協会会長の桂三枝のアイデアで、より現代人に合ったスタイルを考えたものだ。このやり方は、東京の落語界からも注目を集めている。

ここで、繁昌亭のスケジュール表を見てみる。昼席と夜席の項目があるが、大きな違いは、昼席の欄には出演者しか書いておらず、夜席には出演者と演目が書いてある。昼席は各演者が小噺（マクラ）を振ってお客さんの反応を見てからどういう内容の噺（本題）をするかどうか決める。一方、夜席は企画もので、演じるのに時間がかかる「らくだ」といった大ネタなどが演じられる。

昼席は、出演者の出番の前から順にトップ（前座）、二ツ目、色物、中トリ、シバリ、モタレ、トリといった役割分担がある。落語のルールとして、1 日の上演の中で 1 度演じられたネタと同じ傾向のものをほかの出演者が演じることはできない。笑福亭三喬は盗っ人の噺の名人として有名だが、ある日の昼席で三喬がトリを務めていた時に、前の出番の出演者が盗っ人のネタを出したため、違うネタを披露していた。このように、昼席は出演者のチームプレーで成り立っている。

落語家はその日にどういう層のお客さんが入っているかによってネタを変えている。例えば平日は団体客が多く、土日は家族連れや個人の客が多い。いかにお客さんに楽しんでもらうかを常に考え、日々上演が行われている。「毎日ネタが変わる」ということが、定席の魅力である。

（樋口真佑子）

## 第 8 回 青山学術文化講演会開催報告

会報編集委員 石井 智裕 (79 回)  
樋口真佑子 (113 回)

昨年 11 月 12 日第 8 回青山学術文化講演会が、新潟高校視聴覚ホールで開催されました。

今回の講師は次の方々です。

- 1 武藤輝一さん (55 回)  
新潟大学名誉教授 (医師)
- 2 恩田雅和さん (76 回)  
天満天神繁昌亭支配人  
和歌山大学非常勤講師

以下、それぞれのご講演について要旨を報告します。



### 講演 1

「最近関心の持たれている  
幾つかの医療と医学教育」  
武藤輝一さん (55 回)

割とよく知られている病気の中では糖尿病、心臓病のように注意を払われていないが患者さんの多い認知症、癌などを主体に治療の現場などの話も交え進めます。

### 認知症

認知症は発生原因ごとにいろいろ種類がある。認知症は以前は痴呆症などと呼ばれた。

- I. アルツハイマー病 (AD)：脳神経の通りが障害され知覚が伝わりにくい症状。原因はアミロイドβ蛋白が脳に蓄積し、神経の変性などを引き起こし神経伝達を阻害する。
- II. 脳血管性認知症 (VaD)：脳内出血や脳血管の閉塞により神経伝達に障害がおこり頭の働きがおかしくなる。同時にボケてくる。
- III. レビー小体型認知症 (DLB)：パーキンソン病の原因タンパクが高齢になると脳の他の所にも出現し、脳に障害が出て認知症となる。
- IV. 前頭側頭型認知症 (FTD)：前頭葉や側頭葉における脳萎縮が原因で起こる認知症。
- V. 正常圧水頭症 (NPH)：脳室内に水が溜まり脳を圧迫して起こる認知症。

### 認知症の発生頻度

若年期認知症：18-44 歳 レビー小体型認知症 (DLB) や前頭側頭型認知症 (FTD) が多い。

初老期認知症：45-64 歳 アルツハイマー病 (AD) や脳血管性認知症 (VaD) が多い。

CT、MRI で認知症の診断判別がついている。他には脊髄液を抜き取り検査し判定する。遺伝子診断も検討されている。

### 認知症の療法

現在は、殆どアルツハイマー病に対するものである。

- I. 異常発言や異状行動への医師、看護師、家族の対応
- II. 薬物療法
  1. ドネベジル：薬名アリセプト：神経伝達物質 (アセチルコリン) が正常に出れば問題ないのだがこれを壊してしまう酵素 (アセチルコリンエステラーゼ) が多く出ると神経伝達が阻害されるので、この酵素の生成を阻害して神経の伝達を良くする薬。

2. ガランタミン：薬名レミニール：アセチルコリン分解酵素阻害作用およびアセチルコリンの結合部を活性化する。
  3. リバスタチミン：薬名イクセロンパッチ、リバスタッチパッチ：複数の神経伝達物質アセチルコリンとブチルコリンの分解酵素の働きを阻害する経皮吸収型製剤であり薬である。
  4. メマンチン：過剰なグルタミン酸により神経伝達が抑制され、神経細胞が傷つくことがある。これを抑制して神経細胞死を予防する。
- III. アルツハイマー病のワクチン療法。研究進行中。
- IV. インスリン投与：インシュリンで血液中の糖を減らせば脳内の原因物質が血液中に出てきて脳内の原因物質が減少することにより治療をする方法。研究中。
- V. 血液の人工透析で血液中のアミロイドβ蛋白を排除すると、脳内のアミロイドβ蛋白も減少し認知症が改善されるという。研究進行中。

### 癌の治療 とくに分子標的治療法について

治療には種々あるが最近分子標的治療法が目立っている。

癌細胞の増殖はあたかも皮膚細胞の新旧が日々入れ替わっているのに似ており、この入れ替わりを阻害して癌細胞の増殖を抑制しようという治療法。癌細胞増殖因子がその因子の受容体に結びつくことによって癌が増殖するが、①直接に結びつくことを阻止する②結び着くように作用する酵素の作用を止める、ことで癌増殖を抑制できる。薬剤も因子結合阻止薬と結合酵素抑制薬とある。

1. 上皮成長因子受容体阻害薬、イレッサ (肺癌)、アービタックス (大腸癌)
2. 上皮成長因子受容体 2 型阻害薬、ハーセプチン、タイチルプ (乳癌)
3. 血管内皮増殖因子受容体阻害薬、アバスタチン (大腸癌)、ネクサパール (腎細胞癌、肝細胞癌) その他 (レジメ記載)

抗癌効果：かなり高い。これまで使用されて来た抗癌剤との併用でかなりの効果が見られるものもある。

### 慢性閉塞性肺疾患

他の疾患で通院中の患者の 60% に見られる。40 歳以上で喫煙歴 20 年の男性患者に多い。緩やかに進行する慢性炎症で憎悪すると死亡率が高い。咳や痰が長引いている時に疑われる。

検査：呼吸機能検査。酸素ヘモグロビン解離曲線の数値測定が役立つ。後者は指先一寸はさむ簡単な器具で測定できる。酸素ヘモグロビン解離曲線が 92% くらいあるいはそれ以下の時、咳や痰が長引いている場合に疑われる。息切れなどの時に病院にて検査が必要。

薬剤：吸入用気管支拡張薬、吸入用ステロイドなど。

### 癌緩和ケア医療

緩和ケア病棟 (病院)、在宅緩和ケア (自宅) も可能。治癒不可能な癌患者さんの苦しみである疼痛症状を消滅し、苦痛の少ない余生を送ることができるよう介護する。最近麻薬を使い苦痛を和らげている。在宅でも可能だが家族だけでは困難のため巡回の医師、看護師もいる。

鎮痛薬のほかオピオイド (麻薬) を定時に投与する。

同窓生訪問

西村宏子さん(63回)を訪ねて

会報編集委員 坂井 奈津子(96回)

昨年9月、米国心臓協会高血

圧学会の受賞式(米フロリダ州)

にて、栄誉賞「ライフタイムア

チーブメント賞」を受賞されま

した。この賞は高血圧研究の分

野で活躍し、後進の教育にも寄

与した研究者一人に毎年贈られ

ています。これまで21人が受賞

しましたが、日本人は初めて、

女性としては3人目です。この

ような榮譽ある賞を受賞した先

輩に是非お会いしたい、という

ことで訪問させて頂きました。

研究室で迎えて下さった西村

先生は、髪をアップにしている、

背筋がピシッと伸びていらして

素敵だなあ、と思っていたら、

バレエをずっと趣味として習っ

ているそうです。

先生のご経歴をご紹介します

ます。中学生の時に生物学に興

味を持ち、医学系への進学を目

指して新潟高校に入学しまし

た。修学旅行中に校舎が火事で

焼失し、仮教室での二部授業と

いう学習環境の悪い中、休日も

学校に通い、東京医科歯科大学

に進学しました。卒業後、1年

間のインターンを経て、東京大

学医学部第二内科にて学位を取

得しました。折しも学生紛争の

さなかで、安田講堂事件なども

あり、学位の発行に2年も待た

されましたが、69年に渡米、そ

の後テネシー大学医学部生理学

教室の助教に就任し、6年後



2011年米国心臓協会高血圧学会の受賞式(米フロリダ州)にて

に正教授に昇進、約40年間にわたり米国にて教鞭をとりつつ研究を続け、そして専門を生かした社会貢献を行ってきました。07年4月より、新潟大学医歯学総合研究科の特任教授に就任し、現在は新潟市内にお住まいです。

先生の研究は比較生理学という分野で、高血圧や動脈硬化など病因解明や、治療法開発につながる基礎データを、鳥などの動物実験を通して積み上げ、近年は、胎児期の栄養障害が低体重児や将来の生活習慣病につながることに着目し、卵を使った研究で予防法の確立を目指しています。これらの研究を通して、新潟日報文化賞はじめ数々の受賞、招待講演を行っています。

米国における研究生活ですが、自分で研究資金を取って来るといふシビアな面もあります。が、実力があれば外国人だからとか女性だからと差別される事もなく認めてくれるのが良いところだとおっしゃっていました。

そして、これからの女性がリーダーシップを取って活躍するには、女性や男性を部下として使う事が出来、その支える層がしっかりと厚くなり押し上げていく事が重要だと述べられています。先生の高校時代は1学年に女性が13人だけ、大学でも



1クラス3人と、男性ばかりの環境で過ごされて来ましたが、女性が少ない事を意識する事は殆んど無かったそうです。女性だとか男性だとか意識しない方がいいのではないかとおっしゃっていました。(しかし同級生の男性は意識しないわけにはいかなかったようで、体育祭で女生徒がダンスを披露すればやんやと口笛が鳴り、ましてや水泳授業。結局見学ばかりで、おかげで泳ぎは全く駄目になってしまったそうですが・・・)

在校生や若い方へのメッセージは、  
「自分独自のもの、ユニーク(Unique)なものを忘れないで欲しい。医学やサイエンス界もグローバル化してきて共同研究が進める形になってきています。大きなチームだと学生がプロジェクトの手足になつて働き、

一部を手伝う事になるので全体が見えなくなる事があります。個人のアイデアで力を入れて研究する事も大切だと思います。また心配なのは、自分の専門に関しては造りが深いのですが、他の事に興味を示さない傾向がある事だそうです。先生自

身がテネシー大学在職中は制度を利用して日本、パリやオランダなどの大学に滞在し、新しい知識を得て自分の研究の発展にも役立つ経験から、いろんな事に興味を持って、外国にもぜひ積極的に行って欲しいとおっしゃっていました。

この同期会は、蒲原神社の金子宮司を会長とする「くさりの会」(くさりは金属の輪を一個一個強固に結んだもので、離れな

同期会報告

第42回「くさりの会」開催

青山 昭郎(55回)

平成23年1月9日(日)「卒業第54回・第55回の合同同期会」を開催致しました。

今年まで1月4日頃と「成人の日」の頃の2回開催して来ましたが、平成22年から同期会は「くさりの会」だけとなりました。

「くさりの会」は、金属の輪を一個一個強固に結んだもので、離れな

会場は蒲原神社2階の「青海殿」で実施します。

最初に、参加者全員による御祓の式で、家内安全と末長い健康の祈願をし、記念写真をとって懇親会に入りました。

参加した22名からは、先ず、自己紹介から始め、昔話に花を咲かせ、杯が進むにつれ思い出話、談笑に爆笑と和氣藹々な宴が続き最後に、新潟県立新潟中学校校歌

(玲瓏の天仰ぐ時 胸颯爽の意気に充ち……)

と思いの応援歌

(丈夫のたばさむ征矢の 雄風に草木もなびく……他)



「第58期同期会」

傘寿記念合同玲瓏会

幹事 青柳広士  
幹事 加藤高弘  
幹事 佐藤弘

我々58回卒は、何時の頃からか憶えていないが、地元新潟と首都圏在住者が、それぞれ年一回づつの同期会を続けて来た。

名前は「玲瓏会」。旧校歌の出だしの一節を拝借している。青柳と加藤が何んとなく幹事役に就いている。佐藤は今回の「合同」で入ってもらった。青柳が日青堂の社長なので案内状の作成などすごく便利だ。15年前から5年に一回は新潟と首都圏合同でやる事になっている。今回は「傘寿記念」も兼ねている。「合同」の意味も強調したいと、参加者全員が一旦母校へ集合し、新校舎を見学させてもらうとの発案があった。10年前に新築された校舎だが、誰も内部を見ていない。早速大滝校長にお願い出たのが平成23年3月の事。校長へは先づ電話をし、まかり出てお願いしたいと申し上げたら「この電話で充分だ。当日は自分が案内して説明します。」と誠に丁寧で痛み入るお言葉で快諾を頂いた。

さて、当日、母校へ集った者は新潟21人、首都圏12人。10月6日(木)午後2時、会議室で



顔を合せた。先づ、大滝校長から歓迎のご挨拶と学校の現状につきお話を承った。「先の高校選抜野球大会では、もう少しの

所で選抜されず、甲子園を逃してしまった。学問の方は一流大卒への進学率は上昇している。33人を引連れて廊下に行く。授業中だがシーンとしている。廊下を行く卒業生の方がやかましい。注意されて姿勢を正した。

それにしても生徒の授業態度は真剣味がただよっていて感心した。2つのアリーナ、劇場のようなステージ、水泳プール、柔道、剣道の専用道場。何れを見てもすばらしく、今の生徒達

は仕合せだなど、卒業生一同感銘を受けた。大滝校長から母校のPR資料、チラシ等を頂き時代の変わりようを強く感じた。時間だった。ホテルのマイクロバスで一路月岡温泉ホテル「泉慶」へ。

宴会は芸者7人をあげて盛大に傘寿を喜び合い、早目に切り上げゆつくり休んだ。翌日は近くの市島邸を見学し、予定通り全員無事に新潟駅南口で解散した。

「青山68会展」

・・・想定外の県展賞・・・

若林 茂敬 (68回)

平成23年9月7日〜11日まで第8回青山68会展(68回生の作品展)が開催されました。今回は出品数が少なかったこともあって、突然写真部門で県展賞を貰ってしまった私のために、わざわざ特別コーナーを作ってもらった。

このこともあって今回の原稿執筆のお鉢が回ってきたわけである。私の写真歴は、学生時代に記録写真を撮る必要から二コマシートを買ったことがスタートであった。

就職後二コンF2を手に入れ、もっぱら記録のための写真を撮

撮っていた。退職と同時にデジタルの一眼レフカメラを手に入れた、手取り早く取り扱い方法を知るためにカメラ教室に入り、記録写真とは違う作品といわれる写真を撮りたいという思いで写真クラブに入った。

カメラも二コンD3に変わり、交換レンズも何本も増え三脚と合わせ持ち歩く機材も半端でない。加えて、特別の光を求めて日の出前とか日没後に飛び歩くなど、人に話すと呆れられるような生活にはまり込んでしまった。

仲間と一緒に撮影に行くと、



同じ場所と同じ方向にカメラを向けてシャッターを切っているにもかかわらず出来上がる写真はまったく違い、感性の違いを知らされた。風景写真に難しさを感ずしずつ人物写真を撮り始め、光と影の濃密な世界を知りまたのめり込む。

県展には5回挑戦したが、かうじて入選が2回だけで、周りの仲間の度重なる奨励賞とは比べ物にならなかつた。今年も何とか入選くらいに入ればと思っていたので新聞発表もあまり期待していなかつた。

ところが朝5時、まだ熟睡中に電話が鳴り「県展賞だよ」で突然世界が変わってしまった。とにかく私にとつては想定外で、宝くじに当たったみたいなのである。

通信制恩師を囲む会開催

笹川 薫 (通 37 回)

3年ぶりの開催。平成23年9月17日(土)、東映ホテルで開催され、旧職員18名、卒業生114名、第1回から第48回という幅広い年代からの出席者でした。お世話になった先生方や旧友と、懐かしい話で盛り上がり、会場はあの頃の教室のようでした。

先生方とは、久しぶりの再会でしたが、皆さんお元気で変わりありませんでした。

また、先輩方はじめ参加した方々のお仕事や近況を伺うことができ、刺激を受けました。同窓会の良さは、卒業期が違っても語り合う間にすぐに打ち解けてしまうところです。同じ学校で学んだ者が、一堂に集まるということは、全く楽しいことです。同窓会といえは同窓の友達のことさることながら、最も深い印象として残っているのは、やはり恩師の先生方だと思います。皆さんにはどう思っているかわかりませんが、私には沢山の思い出があります。そうした話で会場は盛り上がり、あつという間に時間が過ぎてしまいました。

恩師の先生方や旧友たちと久しぶりに再会し、一緒に食事を



したりお酒を酌み交わしたりしながら、近況を報告し合ったり、お互いの夢を話し合ったり、現在の健康や幸せを共に喜びあつたりする恩師を囲む会、同窓会。昔に戻って友人たちと語り合う楽しさは格別ですね。

次回は3年後、毎年皆さんにお会いするのが理想ですが、家庭や職場のさまざまな都合があるでしょう。それによりマンネリは禁物です。自分では日々の生活に流されて気づかないけれど、旧友に近況報告を試みると、案外いろいろな変化が起こっているのがわかるのです。そういうサイクルとして、3年はちょうどいいような気がします。

3年ごとに、元気な顔を合わせることを目標に、こまめに連絡を取り合っていきましょう。

OB会報告

青山バドミントンクラブ

創部60周年祝賀会報告

高橋 裕之 (84回)

平成23年10月15日、青山バドミントンクラブ創部60周年祝賀会が開催された。

この祝賀会は、春に開催された総会で「今年が60周年だね」というなげない会話を小耳にはさんだ東京在住の若手が、一汗かこうと幹事役を買って出てくれたものである。そしてありがたいことに、107回卒業の同期も幹事として手伝ってもらった。

当日の参加人数は、新潟高校の体育館にて現役部員と久しぶりに羽根打ちに挑んだ人と、ケガを恐れて?メインイベントの祝賀会のみに参加した人を合計すると60人にもなった。通常総会の4倍の出席者である。内訳は61回生、118回生まで幅広く、歴代顧問の先生も3名参加していただいた。幹事が、日頃当クラブの行事に参加していない若手を積極的に勧誘してくれただけである。

祝賀会は、北村会長の挨拶で始まり、引き続き最年長河辺先輩の乾杯の発声をいただき、お

酒を酌み交わした。そして、宮川前会長(新潟県バドミントン協会長)の最近のバドミントン界の話題をお話していただいた後、事前アンケートにより判明した歴代怖い先輩ベスト3や過去の恋愛遍歴にまつわる話など、色々なエピソードを、おもしろおかしく、映像をもとに全員で観覧したのは大いに盛り上がった。

母校野球部の近況について

青山野球倶楽部 高橋 昇 (73回)

僚と一緒に、太鼓の演奏を披露してもらった。腹まで響く太鼓の演奏は大変迫力があり、メンバー全員が感動に酔いしれたようだ。

最後に、このように大勢が集まったことで、またこのように会を開催しましょう!とあちらこちらで声があがった。この祝賀会がきっかけになり、メンバー同士の間が今以上に持ったため、司会からFACE B.O.O.Kを活用したい旨提案され、一同賛同してくれた。今回参加できなかった青山バドミントンクラブの皆さん!次回は必ず参加して下さい。300人超の絆は皆さんにとっても財産です。次回企画を乞う御期待!!



二十一世紀枠を逃して以来あまり成績が芳しくない野球部であります。にもかかわらず本当に多くの同窓生の方から心温まるご支援やスタンドでの熱い応援をいただき、この紙面をお借りして御礼申し上げます。

念公式行事ということで、校長他多くの三校関係者が集まり盛大なものとなりました。

平成23年11月13日、ハードオフエコスタジアム新潟で、新潟高校、長岡高校、高田高校の三校リーグ戦が行われました。か

当日は寒いうえに時折大粒の雨が降るあいにくの天気でしたが、父母会の方々や大滝校長と共に、我々青山野球倶楽部員新潟高校野球部OB会の名称も勝利を願って声を嗄らす一日となりました。地元は勿論、東京をはじめ県外からも集合し、後

輩の雄姿に現役時代を重ねながらの熱気溢れる応援でした。

対長岡戦は、点の取り合いで逆転の連続。最終回1点取って勝ち越し、その裏一アウトランナー無でこのまま勝利と思われたその矢先、四球からヒットが絡んで逆転サヨナラ負けでした。(我が野球部の諸君は趣旨を十分過ぎるくらい理解していただきます。)

次戦の高田は秋の大会でベスト4まで駒を進めたチームで、中盤までは五分五分でしたが、結局「ナニカの違い」で敗戦となつてしまいました。

今、野球部は冬期トレイニングの真っ最中。「ナニカの違い」に気づく有意義な練習を期待しております。

### 山岳部 第18回現役・OB交流会

石沢 浩 (79回)

台風12号が近づく平成23年9月3日(土)4日(日)にかけて、巻機山の家に恒例の現役・OBの交流会が行われた。

当日昼に追い出されるように家を出てひたすら17号線を走る。午後4時着の予定なのだから時間だけはたっぷりある。途中で、八海山はきれいに見えていたのだが、その先は黒い雲が巻機を隠している。何となく嫌な予感。桜坂駐車場へは3時半頃に到着。車が1台も止まつていない。台風の影響が時々雨が強く当たる。風も強い。まあ、現役は4時着の予定なのだから30分も待って小屋に入れるはずだ。ところが、4時を過ぎても誰も来ない。4時半、もう限界だ、帰ろうと駐車場に下りたところで見えなかつた。

昨年(79)は風が強いため、現役も小屋泊まり。現役7名が夕食の準備をしている間に我々はビールで乾杯。とは言っても、OBは私1人。(やはり台風の影響か)。旧顧問の藤田・笛木両先生、現役顧問である渡辺先生との4人での寂しい乾杯だったが、自己紹介で、全員が山岳部へ入った動機や、登山に対しての思いなどを語る。我々の頃、合宿での荷物は30キロが当たり前であったことが現役には理解不能だったらしい。2尺4寸のキスリングなんて想像もつかないだろう。ポッカ訓練と称して1人では持ち上げられない位の荷揚げをしたなど尚更のこと。

翌日は風が強く危険ということで6時30分全員解散。

我々の頃との一番の違いは、

### 23年度青山柔道部OB会報告

立川 克雄 (72回)

おそらくは行動面かもしれない。今回は台風影響があった訳だが、我々の頃ならまずテントを張って過ごし、様子を見て小屋へ避難(したかどうかも怪しい)。翌日も行ける所迄は行っていたらと思う。

閑話休題

山岳部は2013年で創部60周年を迎える。40周年・50周年と記念事業を行ってきたが、今回はどうするのか話題になった。

現実問題として大半のOBとはこちらから連絡がつかない状態では如何ともし難く「山岳部OB会の実態は前後2・3年の年代の集合体。まずは連絡網作りからでしょう」ということになる。

この会報を見た山岳部OB・OG諸君、まずは私までメールを。  
Mail:yama@webstn.com

一 現役激励会(食事会)

昨年も県高校総合体育大会柔道大会、北信越高校柔道大会と頑張ってくれた。又、国体柔道県予選会、全日本ジュニア柔道県予選会でいずれも2位。全国へもう一步と今年への期待を大いに膨らませてくれた。7月23日(土)引退した3年生の慰労と次の目標への激励、新入部員の歓迎を兼ね関屋新町通の「三宝飯店」で食事会を行った。

二 現役・OB合同稽古

11月19日(土)午後、母校道場で実施。差入れに行ったOBを心配しながら見学。

三 総会・懇親会

恒例の総会・懇親会は、11月19日(土)現役・OB合同稽古の後、東堀通八「海鮮亭羅言」(女将が91回の風間まゆみさん)に於いて開催された。

開会のあいさつ、事業・会計報告、佐藤信秋東京青山柔道部OB会長(74回・参議院議員・全国区・自民党)から東京OB会の活動報告とあいさつ、来賓の元顧問の佐々木睦夫先生(63年から平成11年まで監督)の紹介に続き、現監督の竹石健、笹口勝顧問の近況報告に続いて、いよいよ金子隆弘(55回)先輩の乾杯の音頭で懇親会が始まった。55回から103回まで旧知の間柄である先輩・後輩が一緒に飲み、且つ楽しく語った。○十年前に戻り若さを取り戻す大切な一日である。



### 『2011青山ラグー祭』

小見 毅 (92回)

24年度総会予定11月17日(土)。参加者、佐々木先生、竹石先生、笹口先生、金子(55回)、増田、村田(70回)、立川(72回)、丸山(73回)、小川、佐藤成昭、佐藤信秋(74回)、相澤(78回)、倉田、広井、山下、安河内(82回)、栗林(83回)、大澤(84回)、須田(87回)、小林(88回)、儀同、斎藤(90回)、野沢(91回)、井狩(92回)、西山(94回)、福田(95回)、渡辺(96回)、小田(100回)、加藤(101回)、青柳(103回)。

四 東京青山柔道部OB会

9月27日(火)「がんこ銀座一丁目店」に於いて23年度総会・懇親会を開催。近年としては一番の盛り上がりでした。参加者福田(58回)、村山(61回)、内田(66回)、堀(71回)(幹事長)、斎藤、古山、梅田、立川(72回)、佐藤(74回)(会長)、成海(幹事)、片桐(81回)、豊田(83回)、吉田、苦米地(85回)、磯部(87回)、長田(91回)、細貝(94回)。

昨年度も恒例の『青山ラグー祭』を、夏真っ盛りの平成23年7月31日(日)にとり行うことができ、OBの皆さんと現役高校生部員たちと楽しく交流をはかりました。

昨年の現役は3年生が4人残り、1・2年生と合わせて28名の部員と5名のマネージャーと

佐藤信秋(74回)、相澤(78回)、倉田、広井、山下、安河内(82回)、栗林(83回)、大澤(84回)、須田(87回)、小林(88回)、儀同、斎藤(90回)、野沢(91回)、井狩(92回)、西山(94回)、福田(95回)、渡辺(96回)、小田(100回)、加藤(101回)、青柳(103回)。

9月27日(火)「がんこ銀座一丁目店」に於いて23年度総会・懇親会を開催。近年としては一番の盛り上がりでした。参加者福田(58回)、村山(61回)、内田(66回)、堀(71回)(幹事長)、斎藤、古山、梅田、立川(72回)、佐藤(74回)(会長)、成海(幹事)、片桐(81回)、豊田(83回)、吉田、苦米地(85回)、磯部(87回)、長田(91回)、細貝(94回)。

いよメンバ構成となつています。押木先生、濱藤先生の熱意で、少しずつ部員数も増加傾向になっております。OBとしてもこれからがとて楽しみます。

開催場所は母校・新潟高校グラウンドで、OBは老若男女22名が参加、現役生徒の保護者の



皆様も多くの方々にご参加をいただき、暑い、熱い真剣勝負が繰り返りげられました。

今回はちょうど新潟商業高校がラグビー祭を同日に行うという話を聞き、私の記憶では初の合同開催ということになりました。

以前は新潟商業高校OBクラブの『葦原クラブ』と、新潟工業高校OBクラブの『北斗クラブ』と新潟商業高校OBクラブの『青

山ラグビークラブ』で定期交流戦をやっていました。当クラブのメンバー構成が難航して現在当クラブは参加できておりません。それだけに、特に年長の先輩方は懐かしさも加わりとても喜んでおられました。しかしながらまだOB同士の交流戦は組めておりませんので、それに向けたきっかけになればと思います。

当日は新潟商業高校現役対新潟商業高校OB、新潟商業高校現役対新潟商業高校現役という試合を行いました。いずれも大熱戦

### 現役らの活躍を求心力に 青山バスケットボールクラブ

和澄 孝男 (83回)

平成23年は、東日本大震災で震撼させられ、日常生活に於いて経験しなかった大きな変化を余儀なくされた年であった。

当OB会の活動にも、少なからず影響があった。3月は、高校の春休みを利用して現役を強化する絶好の時期である。3年生にとっては、6月初旬に行われる県総合体育大会(インターハイ予選)に向けた最後の集中強化期間なのである。毎年この時期を利用して、県外のチームを招いて「青山バスケットボール

となりました。

本当年齢を感じさせないOBのパワーと年季を感じさせるテクニクと、何より身体を省みない負けん気の塊のような気力にはラグビー魂を感じさせていただきました。

終了後は現役高校生、保護者の皆様、新潟商業高校OBの皆様と、楽しく飲食し交流をはからせていただきました。ラグビーの「ノースサイド」の精神はこうやって培われるということも実感させられるとても楽しい『青山ラグビー祭』でした。

運んでくれたのであるが、最近はその数もやや減少しつつあるのがつくづく残念である。

堂に会いたいものである。

### 青山体友会の集い

中川 弘 (58回)

暑い夏もすぎ、芸術の秋、文化の秋、紅葉の秋といわれるが、わが青山体友会の秋でもある。

平成23年10月22日に、第25回青山体友会が開かれた。会長の土田卯八郎氏が数十年前の体友会の写真をもつてきて、「何人死んだ。この人は誰」と話題にこたかかない。安倍豊氏が荷物を整理していたら、体操の写真が出てきたとて、また一段と盛り上がる。これは誰だ。へえ、若い、キャキャと時間が流れる。酒がまわるにつれ、味方繁夫氏の、今月東京で開かれた世界選手権の様子の報告と数本のハーモニカの演奏に、皆感心して、さきほれる。次々とリクエストがされ、静かな、賑かな、なつかしい歌を次々と口ずさみ、至福の時は流れる。

現役の活躍がその求心力となつて、また多くのOB達と一堂に会したいものである。

て体操をやつてよかつたと述懐する。母校に、現在、体操部はないが脈々とわれわれの築いた歴史はのこっている。時代の流れ、器具の購入、指導者の不足、各クラブの隆盛等で高校では体操部のあるのが珍らしい。

いづれの日にか復活をしてほしいと希望している。青山体友会も、連連とつづいているのは素晴らしいことである。

体友会は瞬時に昔にもどる記憶がよみがえり、若かりし頃の思い出は走馬灯のように想い出されるから不思議である。体操はすべての基礎であり、特に反射神経とバランスの訓練には最上である。昔、体操部に入っ

平成23年7月31日(日)、恒例となつた水泳部の関川村合宿最終日に、水友会の平田会長、江口副会長以下OB9名が駆け



### 水泳部関川村合宿

津野 徹 (85回)

つけた。1〜2年生部員は前日よりの合宿入りだったが、新潟福島豪雨の影響で大分到着が遅れたとのことであった。

出席者 土田卯八郎(51回) 青山昭郎 青山茂郎(55回) 安倍豊、中川弘(58回) 川上忠男(59回) 味方繁夫(67回) 出口卓哉(94回)

垂、鞍馬、平行棒、吊輪等、よくも、若いとは言えあんなものが出来たとつくづく思う。来年の再会を期して、会場をあとにする。



さて、プールでは、さつそくOBが部員に恒例のリレーの挑戦をたたきつけた。とはいっても男子部員には到底歯が立たないのは分りきっているの、相手は女子部員である。我々は若い方から4人(合計年齢110歳)による200mメドレーリレーと3年生女子2人によるフリーぬきメドレーの勝負である。超めちゃくちゃ大ハンデイつきりレーであるが、我々OBチームが何とか僅差で勝利

平成23年10月23日紫雲ゴルフ倶楽部飯豊コースで大会は開催されました。私共72期チームは今回、出席者が少なく、井海明君、菅又滋君と私の3名で期別対抗戦での最小人数となりました。曇り空の下、先頭チームで「インコース」スタート。目標は、3名とも95(合計285)をオーバーしない事でありました(過

### 第32回青山ゴルフ会奮戦記

渡辺 国夫 (72回)

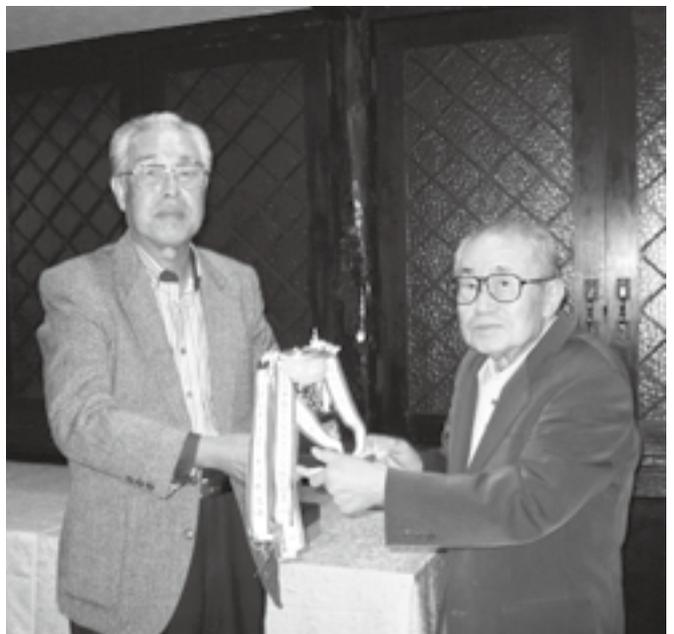
大きな期待はケガのもと。出だしから大変な3ホールで皆6オーバー、7オーバー。前半合計149。後半は、皆、慎重なスタート。菅又君4番(181y)ホールでスピーリショット。バーディーを取るも、5番ホール第2打池へ。井海君しっかりパー。私、渡辺は前半51も打つたため、なんとか44を目指して

### ゴルフ同好会報告

を収めた。こちらが部員たちに遊んでもらっているようなものなのだが、真剣に泳いでくれ、負けて悔しがっている姿がうれしかった。部員達の練習とOBとの交流はまだ続くのだが、当方50m泳いだけであえなくダウン。来年は少し練習してこようと思いつつ次の準備と称し休憩へ。プールの後は、宿舎に戻り裏山でパーベキュー。猛練習で腹をすかせた部員たちにOBが鉄板焼きや流しうどんを振舞った。旺盛な食欲に鉄板の面積が追いつかず、順番待ちの列ができて「ニク！ニク！」コールが

コダマした。食材も底がつき、最後は3年生部員一人々から今後の抱負を語ってもらった。短い言葉の中にも各々の確固たる決意がうかがえ、何よりの締め言葉となった。新潟高校水泳部員たちは、勉学に励みながらも部活動を続けている。一日のみであったが、彼らとともに過ごしてこちらの方が元気をもらい勇気づけられた思いがした。彼らの成長と活躍を願うOBとして来年も合宿に参加し、少しでも支援できればと考えている。

ボギーを続けるが、既に6番ホールまで6オーバー。難しい7番ダボとなり絶望的。アウト前半好調だった菅又君、最終2ホールで5オーバー。井海君と私が最終ホール共にパーで、井海君94、渡辺君95、菅又君96と平均95リトータル285を奇跡的に達成したのであります。夜の表彰式での成績発表では、優勝と聞きビックリ。準優勝の61期は、ネット合計223・0、私共3名のネット合計222・6、0・4という僅差での優勝でありました。終わってみれば、池ポチャが幸いしたか、3人共ワンバット、パー



個人優勝の61回佐々木繁さん (左側)

### 追悼文

#### 遠藤久雄先生を悼む



遠藤久雄先生が平成23年6月22日にご逝去なさいました。84歳でおられました。

堀川 楊 (67回)

先生は、昭和29年から二十一年間新潟県立新潟高校に奉職されておられましたが、私たち67期生は昭和34年に卒業するまでの三年間、国語を教えていただきました。私は一度も担任ではなかったのですが、高校の授業を思い出すときに何時も真っ先に浮かぶのは遠藤先生の古典の授業でした。徒然草や奥の細道の

のイン7番が幸いしたのかと考えましたが解らない事ばかり。プレイ中は、優勝の2文字はあつちの期へ行ったり、こつちの期に来たり、結果は神のみぞ知るといふ動きであったとの感想でありました。61期長谷川先輩よりは、次回優勝を期すとの言葉があり、前回優勝の強豪69期(今回3位)ありと、私共3名では心細い今年の大会でありましたが、29回(平成20年6月6日)に次ぐ2回目の優勝を祝いました。追記：優勝賞金は120周年を迎える母校への寄付とすることで皆の意見一致となりました。

幾つかの文章は、朗々と響き渡る先生のお声で私の脳に記憶されています。中でも去来がまとめた芭蕉の俳論を、先生がわざわざプリントして下さったテキストでお習いした講義は、休暇中の補習授業だったのでしようか、あまりに面白く、毎日予習をして、一番前の席に陣取って聞いていました。「下京や 雪積む上の 夜の雨」が、凡兆の書いた中、下の句を「凡兆でかしたり」とおおいに褒めて、上の句は「下京や」しかない芭蕉が言われたという一文は、窓の外に積もった雪に降る雨の音を聞くたびに、懐かしく思い出します。日本語の持つ匂いや美しさ、その一語一語を選び抜いていく厳しい作業を、受験勉強のさ中の生徒の心にしつかりと伝え、生涯の心の糧とすることが出来る国語教師の仕事で、先生は大きな喜びとしておられたのでしよう。

それから四十五年、浜浦町に医院を開業して間もない私のところに、長年続いた不眠と糖尿病、高血圧症の治療のために受診され、以来十年間、数回の入院を挟みながら通院して来て下さいました。アルコールを控えて、食べ過ぎない、散歩するようにと口うるさく言う主治医でしたが、診察室でお会いすると

たちまち先生と生徒に戻り、火災で焼けた後の小さなバラック校舎で始まった高校時代の思い出話に花が咲くのでした。しかし先生の大きなお仕事であったと滝沢元校長先生が弔辞で話された70年代の学園紛争のご苦労について、語られることはありませんでした。

先生はその後平成15年に重い狭心症をカテーテル治療で克服され、平成20年の悪性リンパ腫もがんセンター新潟病院で分子標的治療を受けて完治されました。

23年1月に再度狭心症で心不全になられ、新大病院でカテーテル治療をして頂き、一時退院されたのですが、既に高齢で以前のような回復を望むことは、今度ばかりは出来ませんでした。でも先生は幾つもの重病と十分に闘われ、老いて、病を得て死ぬことの人として避けられない不条理を私に身をもって教えてくださいました。どうかゆつくりとお休みになつて下さい。ご冥福をお祈り申し上げます。

### 齊藤伸雄先輩を悼む

佐藤 信秋 (74回)



平成23年9月24日(土) 哀切の極みですが、青山健児の巨星、齊藤伸雄先輩が、静かに永遠の旅路に立たれました。満91才でした。いつも笑みを優しく浮かべられて、我々後輩の悩みや勝

心からご遺徳を偲びます。新潟の戦後産業復興に多大の貢献

齊藤先輩は昭和17年東大法学部を出られて、日本興業銀行に入社。敗戦後自ら望んで、新潟勤務となり、新潟の産業と経済の復興に多大の貢献を果たされました。未だ産業を興すにも民間の資金が全く無い時代にあつて、興銀の政策融資が、まさしく干天の慈雨のように求められ、活用されていた時代でした。二次産業の集積が進み、工業都市新潟が発展できたのは、齊藤先輩のふる里を思う熱情も大きな力の一つとなつたと思つています。

和光証券(現みずほ証券) 中興の祖

齊藤先輩は、どちらかと言えば中小証券だった和光証券に入られ、健全で経営に秀れた中堅中核証券会社に育て上げられました。25年間、社長、会長、相談役を勤め上げ、その経営を守護神のように見守られました。

新潟中学柔道全国制覇のリーダー

昭和11年、我が新潟中学は、齊藤先輩をリーダーとして、全国制覇をなしました。優勝校の無い2位2校で実質優勝でした。齊藤先輩は後輩を育てることに情熱を注がれ、しょつ

### 湯浅一平会長を偲ぶ

青山野球倶楽部 大塚 忠雄 (77回)



中、新潟中学を訪れ、多くの名選手を育てられました。特に敗戦後は、新潟勤務の傍ら、新潟柔道界の復興にも寄与されました。おかげで、新潟中学は高橋是成、広川彰恩、福田満といった全日本トップクラスの多くの柔道家を輩出し、新潟県柔道強し、の礎づくりに大活躍されました。

いつでも笑顔、温顔が焼きついて離れない

ここ4〜5年腎臓透析で週3日通われていました。平成23年9月に東京青山柔道クラブの開催のご案内を出したら、自筆で、皆様によるしく、との回答を頂き、一度皆で自宅を訪ねよう、と約束しあつた矢先の訃報でした。後輩一同で齊藤先輩の新潟と柔道への思いを繋いで行きたいと念じながら、心からご冥福をお祈り申し上げます。(東京青山柔道クラブ会長 参議院議員)

青山野球倶楽部、湯浅一平会長(63回)の告別式が平成23年10月16日青山セレモニーホールで営まれました。日本石油時代の友人、青山野球倶楽部の会員、新潟高校監督・現役の新・旧両キャプテン、還暦野球のチームメイト等々、大勢の見送りを受けられました。ご遺族より「故人の希望ですので、会場に『丈夫』を流してもらえないでしょうか」との事で学校よりCDをお借りし、往生院青木主任職が読経されている間以外はエンドレスで『丈夫』を流し続けさせていただきました。祭壇の遺影は8年程前に、奥様を伴われて大リーグ観戦旅行に行かれた折に影られたヤンキースタジアムのスタンドをバックにされたものでした。湯浅さんは、本当に超が付く野球好きでした。現役時代は北信越大会に進出し松本商業に惜敗し甲子園出場を逃がすという悔しい体験をされました。日本石油の時代は藤田元司投手(元巨人)を中心とする黄

金時代でしたから応援にさぞや励んだ事は容易に想像できません。退職され新潟に戻られて後、倶楽部の運営にご尽力をされ、平成13年3月の総会で宮川幸司前会長を引継いで会長に選出されました。4期目の途中で逝去されたわけではありませんが、その間、遠征用バスの購入・ピッチングマシン・購入・トス・バッテリーエリアの築造・強化遠征時の援助等々の現役諸君の甲子園出場という目標達成の為我々会員一同を指導してこられました。2年半程前、余命7ヶ月という告知を受けた後も持ち前の体力・気力を持って現役の応援・選層野球の応援と頑張っておられました。平成20年の第24回全日本選層軟式野球選手権大会(倉敷マスカット球場)で、平成9年チーム創立より携わった「新潟エーゼルス野球クラブ」が全国制覇を成し遂げた時は「あとは母校の甲子園出場のみ!」と大ハシヤギでした。平成22年1月30日は、湯浅さんにとっても悲しい日となりました。「甲子園大会21世紀枠」の当確と方々からの情報もありましたが、午後3時定刻となるも校長室の電話が鳴ることはなく残念な結果となりました。奥様には前日「甲子園に行くぞ!」後輩の名医が付き添って一緒に行くから大丈夫!とおつしやっていたそうです。その後は会が催れる度に「甲子園は勝って行こう。」と言いつけておられました。「ヤンキースタジアムのピーナッツはうまいぞ。ホットドッグはどうもなあー。」「セブンスイニングストレッツで『私を野球に連れてって!』を歌う時の球場の雰囲気は最高だ!」

**同窓の本**

**「続・ドイツ流街づくり読本」**

水島 信 (74回)

「日本の都市が何故ドイツの都市と違うのか」と問われました。これには、まず「何が違うのか」を掌握すべきです。この事象はガスタンクの周辺や高圧送電線の下に住宅が並び、伝統的な街並みに「近代建築」が割り込み、傾斜地の緑を削り取り、または低層住宅地に高層のマンションが建っているように、街区の景観と纏まりや隣人の迷惑を無視したドイツにない景観は



と楽しく話す姿。「金沢で1点取れてたら甲子園だったなあ。」と遠くを見る様に話す姿。きりがないので筆を置きます。私より少し早めに西の方に遠征に出かけられましたが、先に行かれた球友達と野球・ゴルフ・酒を存分に楽しみながら、待っていて下さい。合掌

日本の街の中にすぐに見出せます。次に、それらの原因となる「何故違うのか」は説明すれば多岐に渡りますが、基本的に日本の民主主義解釈の勘違いに集約できると思っています。住民の生活の快適さを優先するというドイツの政策とは全く逆で、企業営利を優先した建設促進が推進されているという日本の都市政策の現状に、それが端的に現れています。

では「何をすべきか」という答えは、ドイツで40年以上も生活しているので依怙最良と言われそうですが「ドイツ流街づくりの薦め」です。この場合、外国の事例を自分の都合の良い様に「奔訳」するのではなく、そ

の概念を「本訳」する翻訳手法を採るといことが重要で、この学習を纏めて前著の続刊として2011年9月に出版しました。

著作と論文  
1998年 創造性のある都市へードイツに見る都市の在り方ー 新建築12月号 新建築社

**優しくありなさい あなたの出会う人々は皆、困難な闘いに挑んでいるのだから――**

希望をはこぶ哲学の言葉

野崎雅恵・大橋一陽著 (プレジデント社)

高校時代から、将来は何か文章を書く仕事に就きたいと漠然と思っていました。

願いがかない、いまはフリーライターとしてビジネスや芸術の分野で活躍する人たち取材し、雑誌の記事や本にまとめています。また、5年前にはマクドナルドの創業者レイ・クロックの自伝「成功はゴミ箱の中に」



2006年 ドイツ流街づくり読本ードイツの都市計画から日本の街づくりへー 鹿島出版会  
2008年 アルヴァー・アールトの住居観と住空間 住宅総合研究財団研究論文集2008年度版 丸善株式会社  
2011年 続・ドイツ流街づくり読本ー日本とドイツの都市は何故違うのかー 鹿島出版会

優しくありなさいを兼ね備えた真の人間関係を大切にしながら、自分の力を信じ、意志を示して前に進む――本書に込めたメッセージを読みとっていただければ幸いです。

高次時代から、将来は何か文章を書く仕事に就きたいと漠然と思っていました。願いがかない、いまはフリーライターとしてビジネスや芸術の分野で活躍する人たち取材し、雑誌の記事や本にまとめています。また、5年前にはマクドナルドの創業者レイ・クロックの自伝「成功はゴミ箱の中に」

答えは、ドイツで40年以上も生活しているので依怙最良と言われそうですが「ドイツ流街づくりの薦め」です。この場合、外国の事例を自分の都合の良い様に「奔訳」するのではなく、そ



「赤ちゃん教育」

渡辺 力 (76回)

2006年講談社エッセイ賞を受賞した『赤ちゃん教育』を紹介... 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部仏文科准教授であり、本職以外に翻訳家、エッセイストの顔ももつ本校第85回卒業生です。氏は好きな映画評の本を出したり、光文社古典文学新訳文庫スタンダード『赤と黒』などの翻訳もしています。一昨年(2010年)、『異邦の香り』ネルヴァル『東方紀行』論(講談社)で読売文学賞(研究・翻訳賞)を受賞。現在季刊誌「文藝」(河出書房新社)でエッセイ「翻訳せよ」と彼らはいづれを連載中です。NHKBSプレミアム(土曜)午前6時半から放送されている「週間ブックレビュー」にゲスト出演もされたこともあるので、ご存じの同窓生もあるかと思えます。

『赤ちゃん教育』は、2004年に同タイトルで文芸誌「群像」(講談社)に1年間連載されたエッセイをまとめて青土社から翌年刊行され、3年後の2008年に講談社が文庫化した本であり、四十代半ばで初めて子どもを持った父親の親馬鹿ぶりがユーモラスに描かれてい

ます。仕事をしながらの飼猫も絡んだ子育て奮闘記には思わずニヤリとしてしまいます。自身の経験から、二十代や三代では目先のことに心を奪われて、なかなか子育てを楽しむという感覚にはなり得ませんが、四十を過ぎた中年となると見方が変わります。赤ちゃんから乗り物(特に鉄道)好きの幼児へ変貌していく姿に日々驚きながらも、いかに子育ては楽しいものか、冷静かつ的確に分析しています。「鉄ちゃん」だった息子さんも、現在は小学生。どんな子どもにも成長しているか、ついつい気になってしまいます。文庫本あとがきに著者自身が「照れ隠しに、赤ん坊を前にして周章狼狽する古今東西の文豪たちの姿、さらに彼らの幼年時代の話も引き合いに出させていただきます」と記しているように、フランス文学の研究者はそうした逸話を随所に巧みに折り込んで読者を飽きさせません。是非、同窓生の皆さんにご一読をお勧めします。(講談社文庫 本体467円+税)

母校は今

第24回全国高等学校将棋電王戦に優勝してこれからも挑戦者で

2年 高橋 海渡

今回、幸運にも高校電王戦で優勝を果たすことができた。自分の基礎をつくっていたいた将棋の先生、高めあった棋友、祝福をいただいた学友や先生方、そして両親には感謝したい。

話は変わるが、私は高校に入るまでプロ棋士を目指していた。結果が全ての世界で、堅実で勝ちやすく安全な将棋を目指していた。今ではそういう安定思考が一番良くないと思っている。プロをあきらめ、勝たなければいけないというリミッター

が外れたことで、結果度外視の挑戦的な将棋ができ、優勝できるだけの総合力が付いたと思う。これからもリスクを恐れず、大きな勝負でこそ新しく、慣れない局面で戦ってみたいと思う。もちろん、その方法で結果がついてこないことはよくある。ただ、確実な方法を選ばずにもがくことで力はあると思うので結果云々は気にしていない。

結果にとらわれず、常に挑戦して前へ進めればと思っている。

インターハイで準優勝して(少林寺拳法)

2年 伊勢 歩実

インターハイに出場して私は学んだことがたくさんあります。まず気を強く持つことです。予選会当日となっても緊張がとれず、予選会では満足のいく演技ができませんでした。しかし、決勝へコマを進めることができ

ようにしました。次に学んだことは他人の良いところは認め合いたい、悪いところは自分も気をつけるようにすることです。インターハイという舞台は本当に勉強になり、地元に戻ってくると自分自身が一回りも二回りも成長していることが実感できました。ただ一つ残念だったことは結果が準優勝だったことです。

全国高等学校クイズ選手権

ベスト8になって

2年 西村 俊人・渡邊 瑛介・横山 佑太郎

僕たちクイズ同好会は、昨年夏開催された『全国高等学校クイズ選手権』に参加してきました。僕のチームは一昨年と同じメンバーで出場しましたが、地区大会で2年連続となる優勝を果たし、昨年も全国大会に出場することができました。一昨年は一回戦で12位という結果に終わり、惜しくも準々決勝進出ならず、悔しい思いをしました。しかし、今回は10問ごとに得点を重ねて圏内をキープし、最終的には6位通過で一つ上の段階に進むことができました。続く準々決勝早押し対決では、一昨

年の優勝校である開成高校と対戦をしました。1問目を先制するなど、最初は優勢でしたが、その後次々と答えられてしまい、収録時間30分ほどで敗退が決定してしまいました。残念ながら準決勝に駒を進めることは叶いませんでしたが、多くの人が体験できないことができ、夏の一番の思い出となりました。創部2年目にして特注早押し機の購入、全国ベスト8、初の部誌作成等、大躍進の年だったと思います。今年の後輩に更なる発展を期待します。



# 平成 23 年度 大会結果報告書

- 合唱  
放送 NHK 全国学校音楽コンクール新潟県大会 銀賞  
第 58 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト新潟県大会  
兼第 52 回新潟県高校放送コンテスト
- アナウンス部門 第 1 位 宮本真理子 第 4 位 阿部花奈子 第 5 位 川崎 夏帆 (全国大会出場)  
奨励賞 佐々木 彩  
朗読部門 第 3 位 阿部佳南子 第 4 位 石附 愛 (全国大会出場)  
テレビドキュメント部門 第 3 位 「共に生きる」 (全国大会出場)  
テレビドラマ部門 第 1 位 「transparent」 (全国大会出場)  
ラジオドラマ部門 第 3 位 「現代くちべた事情」  
テレビドラマ部門 第 3 位 「ALIVE」
- 第 35 回全国高等学校総合文化祭放送部門  
オーディオビジュアル部門 特別賞 「ローカルール」 (全国大会にて特別賞受賞)  
朗読部門 石附 愛 参加
- 第 24 回新潟県高等学校放送コンクール兼  
第 31 回 QK 杯校内放送コンクール
- ラジオ番組部門 第 1 位 「挫折と栄光～竜王までの軌跡」 (全国大会出場)  
テレビ番組部門 第 2 位 「挑戦！まき鯛車商店街」 (全国大会出場)  
アナウンス部門 第 3 位 阿部花奈子 (全国大会出場)  
アナウンス部門 奨励賞 川崎 夏帆 井田 優子 (北信越大会出場)  
朗読部門 奨励賞 平山 佳奈 阿曾 美雪 赤原 真理 (北信越大会出場)
- 写真 新潟県高等学校総合文化祭写真専門部展 学校賞 3 位
- モノクロ部門 最優秀賞：高橋 彩佳  
モノクロ部門 優秀賞 (全国大会出品)：阿部佳代子  
モノクロ部門 優秀賞：諸橋 俊大・大井 香穂  
モノクロ部門 奨励賞：鈴木 薫子・大森 愛・大嶋 和海  
モノクロ部門 入 選：樋口 史歩・渋木 彩可・小竹 茜  
カラー部門 優秀賞：渋木 彩可・村上 杏佳  
カラー部門 奨励賞：大井 香穂  
カラー部門 入 選：高橋 彩佳・阿部佳代子・鈴木 薫子・諸橋 俊大・大森 愛・小竹 茜
- 吹奏楽 第 52 回新潟県吹奏楽コンクール 高等学校 A の部 銀賞  
第 35 回新潟県アンサンブルコンテスト高等学校の部  
金賞 フルート三重奏  
金賞 サクソフォーン四重奏
- 演劇 新潟県高等学校総合文化祭演劇部門  
下越地区 B 演劇発表会 優秀賞  
新潟県高等学校総合文化祭演劇部門  
新潟県高等学校演劇発表会 優良賞
- 囲碁 新潟県高等学校文化連盟囲碁大会
- 男子団体 1 位 新潟高校 (佐藤 勇人、斉藤 未来、山本 惇)  
個人 A ブロック 2 位 佐藤 勇人 3 位 莪山 叶美  
個人 B ブロック 1 位 山本 惇  
個人 E ブロック 1 位 長谷川拓也  
個人 F ブロック 1 位 津野 貴之 3 位 石川 純大
- 美術 新潟県高等学校総合文化祭美術・工芸部門展 平面作品 高井 碧 (全国大会出品)  
書道 第 27 回 成田山全国競書大会 推薦日輪賞 佐藤 綾花  
特選月輪賞 斎藤多佳子 川本 良樹 村上 恵理  
第 12 回 高校生国際美術展 奨励賞 島村 滯 竹田 彩華  
佳作 砂塚 真子
- 新潟県競書大会  
新潟日報社賞 川名 友里  
特選 渡辺 千晶 関 春菜  
準特選 石附 愛理 宇治 雅菜 佐藤 綾花 鈴木 佳連 山口 太久  
高橋 菜由 小湊 和也 関 秋菜 勝 寛子
- 新大全国競書大会  
新潟大学教育学部長賞 渡辺 千晶  
新潟市芸術文化振興財団賞 関 春菜  
良寛研究所賞 佐藤 綾花  
BSN 新潟放送賞 斎藤多佳子  
特選 石附 愛理 関 秋菜  
準特選 早福はるか 川本 良樹 佐藤 貴紀 佐藤 もも 宇治 雅菜  
早福あやか 赤坂 夏美 幡本啓一郎 大森 愛 高橋 菜由
- 第 27 回 全日本高等学校書道公募展  
全高書展準大賞 (第 2 席) 関 春菜  
準特選 神田 遥菜
- 将棋 新潟県高等学校文化連盟将棋大会  
男子団体 1 位 新潟高校 (榎 博人・高橋 海渡・池 浩一郎) 全国大会出場  
男子個人 2 位 渡邊 靖之  
男子個人 3 位 桑野 弘英  
第 24 回全国高等学校将棋竜王戦 優勝 高橋 海渡

平成 22 年度青山同窓会収支決算書  
(自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
前期繰越金	1,511,065	1,511,065	0	前年度繰越金
<b>I 収入の部</b>				
総会特別会計繰入	3,682,569	3,682,569	0	
入会金収入	783,400	781,000	2,400	1 年生 1 人 800 円 × 392 人 2・3 年生 1 人 600 円 × 779 人
会費収入	5,500,000	6,127,500	△ 627,500	同窓会年会費 1 口 1,000 円
総会収入	3,900,000	3,442,000	458,000	
新年会収入	660,000	654,000	6,000	
雑収入	1,000	140,598	△ 139,598	45 期同期会より寄付 113,864 円 校歌・応援歌 CD・名簿・校章パ チ代金、預金利息
当期収入合計	14,526,969	14,827,667	△ 300,698	
合計	16,038,034	16,338,732	△ 300,698	
<b>II 支出の部</b>				
総会費	3,900,000	3,457,520	442,480	
新年会費	660,000	616,440	43,560	
人件費	1,140,000	1,130,700	9,300	職員 1 名、給料、交通費
通信費	1,700,000	1,497,524	202,476	会報発送、総会、役員会案内郵便料金、 振替料負担金、電話料金
印刷費	480,000	508,304	△ 28,304	封筒、振替用紙、総会案内状、はが き印刷代
慶弔費	150,000	98,411	51,589	離任職員饗別、弔電
広報費	1,150,000	1,095,555	54,445	年 2 回発行会報印刷代、学校案内掲 載広告代
会議費	610,000	813,935	△ 203,935	名簿作業各期幹事会 200,000
講演会費	250,000	291,067	△ 41,067	学術文化講演会、スリッパレンタル 60,000
旅費	490,000	422,295	67,705	
卒業生記念品費	300,000	282,240	17,760	
補助費	1,200,000	1,262,625	△ 62,625	東京同窓会補助 500,000、関西同窓会 補助 100,000、東北青山同窓会 100,000、 クラブ OB 会補助 青陵祭補助、学校行事補助、激励費
母校支援費	500,000	556,812	△ 56,812	トレーニング器具、書道額、卒業生 ハガキ
退職積立預金	100,000	100,000	0	
諸費	300,000	404,995	△ 104,995	光熱水費、消耗品費、同窓会旗制作 代金、デジカメ
予備費	3,108,034	0	3,108,034	
当期支出合計	16,038,034	12,538,423	3,499,611	
当期収支差額	△ 1,511,065	2,289,244	△ 3,800,309	
次期繰越金	0	3,800,309	△ 3,800,309	
合計	16,038,034	16,338,732	△ 300,698	

平成 23 年 4 月 20 日 上記の通り相違ないことを確認します。

監事 江口 良助 ㊟  
監事 渡辺 国夫 ㊟

平成 23 年度青山同窓会収支予算書  
(自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
<b>I 収入の部</b>				
繰越金	3,800,309	1,511,065	2,289,244	前年度繰越金
総会特別会計繰入	0	3,682,569	△ 3,682,569	
入会金収入	757,200	783,400	△ 26,200	1 年生 1 人 800 円 × 363 人 2・3 年生 1 人 600 円 × 778 人
会費収入	5,500,000	5,500,000	0	同窓会年会費 1 口 1,000 円
総会収入	3,900,000	3,900,000	0	1 人 6,000 円 × 650 人
新年会収入	660,000	660,000	0	1 人 6,000 円 × 110 人
雑収入	1,000	1,000	0	預金利息
収入合計	10,818,200	14,526,969	△ 3,708,769	
合計	14,618,509	16,038,034	△ 1,419,525	
<b>II 支出の部</b>				
総会費	3,900,000	3,900,000	0	
新年会費	660,000	660,000	0	
人件費	1,140,000	1,140,000	0	職員 1 人給料、交通費
通信費	1,500,000	1,700,000	△ 200,000	会報発送、総会、役員会案内郵便料金 振替料負担金、電話料金
印刷費	500,000	480,000	20,000	封筒、振替用紙、案内状印刷代、デー タメンテナンス代
慶弔費	150,000	150,000	0	会員慶弔電報、香華料、離任職員饗別
広報費	1,150,000	1,150,000	0	年 2 回発行会報印刷代、学校案内掲 載広告代
会議費	600,000	610,000	△ 10,000	
講演会費	250,000	250,000	0	学術文化講演会
旅費	500,000	490,000	10,000	東京、関西、東北同窓会総会出席旅費
卒業生記念品費	300,000	300,000	0	
補助費	1,300,000	1,200,000	100,000	東京同窓会補助 500,000、関西同窓会 補助 100,000 東北同窓会補助 100,000、クラブ OB 会補助、青陵祭補助、学校行事補助、 激励費
母校支援費	20,000	500,000	△ 480,000	卒業生連絡はがき代
退職積立預金	100,000	100,000	0	
諸費	400,000	300,000	100,000	光熱水費、消耗品費、パソコン代金
予備費	2,148,509	3,108,034	△ 959,525	
合計	14,618,509	16,038,034	△ 1,419,525	

青山同窓会費納入についてのお願い

会費を納入していただきますと、「青山同窓会報」を毎月お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまう可能性があります。是非、お忘れなくお振り込みくださいようお願い申し上げます。  
なお、会費は年会費（4 月 1 日〜翌年 3 月 31 日）となっております。

年会費 一口 1,000 円

できるだけ二口以上でお願いいたします。

振込先：郵便振替口座

全日制 00650-7-4455 青山同窓会  
通信制 00530-1-74207 青山通教部会

同期会を開催される期の幹事の方へお願い

同期会の開催に合わせて、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の期日を連絡頂ければ、事務局で、同窓会報・会費納入のお願い・振込用紙として A4 サイズが入る角 2 の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしく申し上げます。

会報へ寄稿される方へ、原稿字数のお願い

原稿の字数は 800 字から 1,000 字の間で書いて下さるようお願いいたします。1,000 字以上ですと紙面の関係で載せられなくなる場合がありますのでよろしく申し上げます。原稿について字、句を修正させていただくことがあります。

表紙題字：小川 和恵 (10 回) イラスト：池主 憲夫 (68 回)

